

水道水のeco発電所

(釜戸小水力発電所)

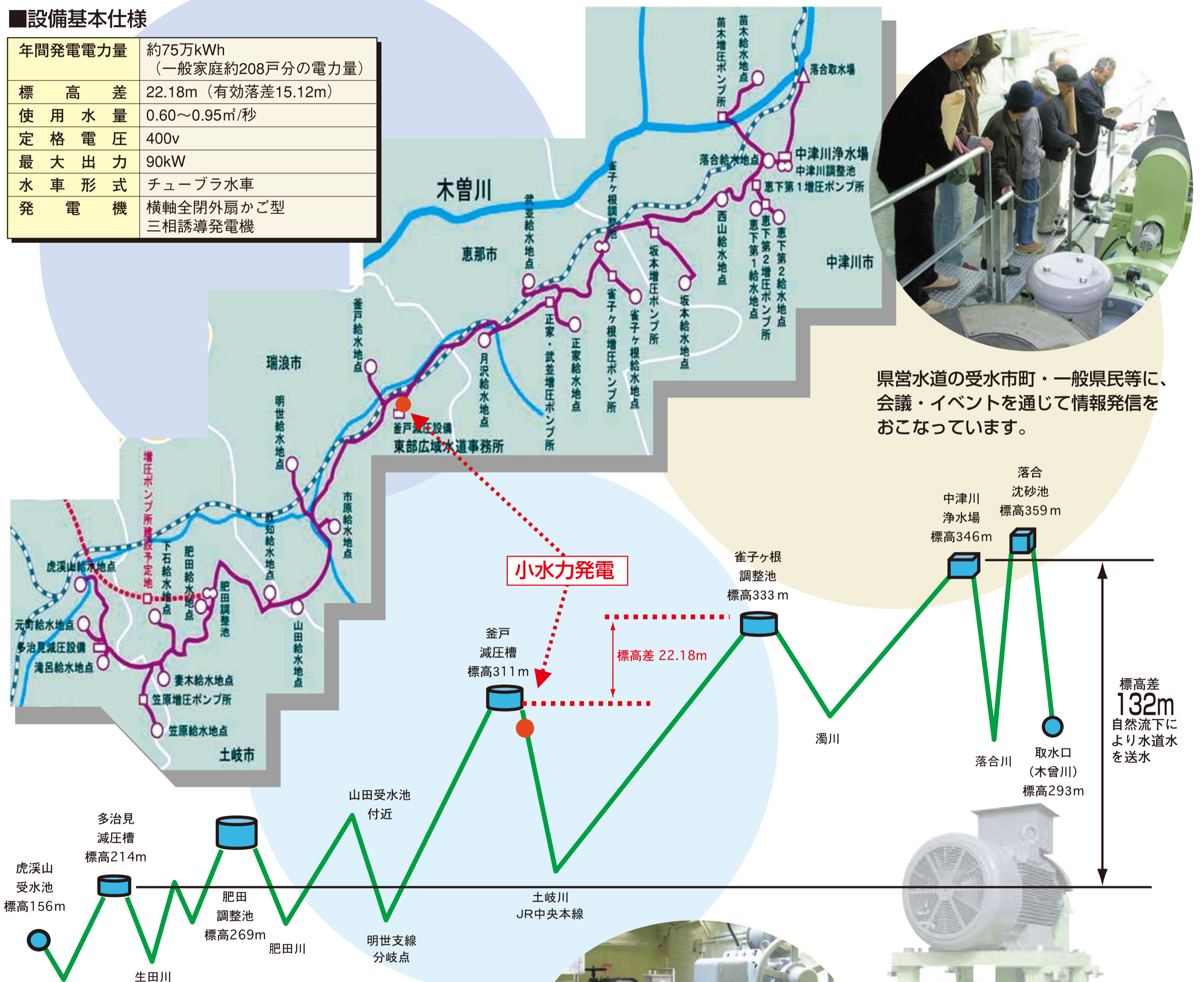
岐阜県営水道 東部広域水道事務所

水力発電は、水のエネルギー（落下エネルギー）で水車を回して発電する、化石燃料を消費しないクリーンなエネルギーです。平成17年度策定の岐阜県環境基本計画、岐阜県新エネルギービジョンに位置付けされ、「環境に配慮する水道」として環境負荷対策に積極的に取り組んでいます。

当発電所は、水道水の持つ標高差を有効利用して発電しています。発電した電力は、東部広域水道事務所（釜戸事務所）の電気設備（動力、照明、空調等）に約20%利用し、残り80%は電力会社に売電しています。

■設備基本仕様

年間発電電力量	約75万kWh (一般家庭約208戸分の電力量)
標高差	22.18m (有効落差15.12m)
使用水量	0.60~0.95m ³ /秒
定格電圧	400v
最大出力	90kW
水車形式	チューブラ水車
発電機	横軸全閉外扇かご型 三相誘導発電機



県営水道の受水市町・一般県民等に、会議・イベントを通じて情報発信をおこなっています。

CO₂排出量削減効果

年間約285 t のCO₂を削減

- 年間発電電力量 約75.4万kWh
- 1kWh当たりのCO₂排出量 0.378Kg
- 年間CO₂削減量 754,000kWh×0.378Kg=285,012Kg≒285 t

